

形 式：皮膚がん：

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	皮膚悪性腫瘍	
	タイプ	メラノーマ	
タイトル情報	論文の英語タイトル		
	論文の日本語タイトル	悪性黒色腫の新 UICC 病期分類と旧 UICC 分類の比較検討：本邦 342 例に関する解析	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ16-3	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1 つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見（IV）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Skin Cancer	
	雑誌 ID		
	巻	18	
	号		
	ページ	214-220	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (1)	
	発行年月	2003	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	野呂佐知子	国立がんセンター中央病院皮膚科、日本
	その他著者 1	山本明史	国立がんセンター中央病院皮膚科、日本
	その他著者 2	山崎直也	国立がんセンター中央病院皮膚科、日本
	その他著者 3	山崎自子	信州大学医学部皮膚科、日本
	その他著者 4	宇原 久	信州大学医学部皮膚科、日本
	その他著者 5	斎田俊明	信州大学医学部皮膚科、日本

一次研究の 8 項目	目的	本邦悪性黒色腫症例について新 UICC 病期分類と旧 UICC 分類によって分類し比較検討する	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	国立がんセンター中央病院+信州大学医学部皮膚科 2 施設	
	対象者	342 例の悪性黒色腫患者	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず（1）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず（3）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず（22）	
	介入（要因曝露）		
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	累積生存率の比較	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	5		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	AJCC 症例および本邦症例の stage 別 5 年生存率はほぼ相関しているが、とくに stage IIC においては前者が 45%に対し、後者が 65%、stage IIIB においては前者が 53%に対し、後者が 62%と後者が上まわっている。	
	結論	新病期分類 IIC、IIIB の 5 年生存率は、本邦患者の方が欧米患者のそれよりも優れている。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	山本明史	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV）	